

## 令和4年度第1回 音更町介護保険・地域包括ケア協議会 会議録

|       |                 |
|-------|-----------------|
| 開催年月日 | 令和4年7月29日（金曜日）  |
| 開催場所  | 音更町保健センター 検診室   |
| 開催時間  | 午後7時から午後8時10分まで |

|                   | 氏名  |    |     | 区分       | 出欠          | 氏名 |     |          | 区分 | 出欠 |
|-------------------|-----|----|-----|----------|-------------|----|-----|----------|----|----|
|                   | 氏名  | 氏名 | 氏名  |          |             | 氏名 | 氏名  | 氏名       |    |    |
| 委員                | 会長  | 阿部 | 郁代  | 保健・医療・福祉 | 出           | 向平 | 尚弘  | 保健・医療・福祉 | 欠  |    |
|                   | 副会長 | 栗原 | 延好  |          | 出           | 片岡 | 順子  |          | 出  |    |
|                   |     | 阿部 | 富美代 |          | 出           | 堀  | 智貴  |          | 出  |    |
|                   |     | 小林 | 壽幸  |          | 出           | 河田 | さえ子 | 識見者      | 出  |    |
|                   |     | 今井 | 武   |          | 欠           | 正保 | 里恵子 |          | 欠  |    |
|                   |     | 坂上 | 啓子  |          | 出           | 種川 | 久美子 | 被保険者     | 出  |    |
|                   |     | 櫻井 | 博一  |          | 欠           | 高瀬 | 美鶴樹 |          | 出  |    |
|                   |     | 三浦 | 昭博  |          | 出           |    |     |          |    |    |
| 会議録署名委員（会長のほかに2名） |     |    |     |          | 小林 壽幸・三浦 昭博 |    |     |          |    |    |

|                       | 職名等 | 氏名   | 出欠 | 職名等 | 氏名 | 出欠 |
|-----------------------|-----|------|----|-----|----|----|
|                       | 事務局 | ◆音更町 |    |     |    |    |
| 保健福祉部長                |     | 堀田   | 昇  | 出   |    |    |
| 高齢者福祉課長               |     | 川田   | 誠  | 出   |    |    |
| 主幹（高齢者福）              |     | 久光   | 宏明 | 出   |    |    |
| 主幹（包括支援）              |     | 重堂   | 美砂 | 出   |    |    |
| 介護保険係長                |     | 浅野   | 達也 | 出   |    |    |
| 主査（包括支援調整）            |     | 月居   | 純子 | 出   |    |    |
| ◆音更町地域包括支援センター らんらん   |     |      |    |     |    |    |
| センター長                 |     | 中村   | 紀彦 | 出   |    |    |
| ◆音更町地域包括支援センター ほほえみ   |     |      |    |     |    |    |
| センター長                 |     | 橋本   | 崇  | 出   |    |    |
| ◆音更町地域包括支援センター ロータス音更 |     |      |    |     |    |    |
| 統括管理主任                | 武田  | 克仁   | 出  |     |    |    |

### ■ 議 件

|   |       |                             |
|---|-------|-----------------------------|
| 1 | 報告第1号 | 令和3年度 介護保険特別会計決算について        |
| 2 | 報告第2号 | 令和3年度 介護保険事業の状況について         |
| 3 | 報告第3号 | 令和3年度 地域包括支援センター事業報告書について   |
| 4 | 報告第4号 | 令和4年度 地域包括支援センター事業計画（案）について |
| 5 | 報告第5号 | 介護予防支援委託先居宅介護支援事業所の承認について   |
| 6 | その他   | ニーズ調査について                   |

◆ 令和4年度第1回音更町介護保険・地域包括ケア協議会 会議録

別紙

川田課長

ご案内の時間となりました。  
協議会の開催に先立ち、しばらくぶりに顔を合わせるといことで、皆さんに自己紹介をお願いすると考えていましたが、新型コロナの感染拡大が進んでいることもあり、省略させていただき、令和3年4月から新たな委員となられたお2人から自己紹介をいただきたいと思います。  
堀委員と高瀬委員をお願いします。

次に令和3年度および令和4年度の人事異動により、新たな事務局の職員を紹介させていただきます。  
今回は係長級以上の職員を紹介します。  
私保健福祉部高齢者福祉課長の川田でございます。  
高齢者福祉担当主幹の久光、包括支援担当主幹の重堂、介護保険係長の浅野、包括支援調整担当主査の月居です。

また、本日は3つの地域包括支援センターから職員の方へ出席をいただいております。後ほど各事業報告を予定していますのでその際自己紹介をお願いします。

ただいまから令和4年度第1回音更町介護保険・地域包括ケア協議会を開催します。  
本日欠席委員を報告します。向平、正保、櫻井、今井各委員から欠席する旨の連絡がありました。  
それでは議事の進行について阿部会長をお願いします。

阿部会長

皆様お疲れ様です。お集まりいただきありがとうございます。  
久しぶりの会議が何か感慨深い気持ちです。コロナ禍を掻い潜りながら音更町の介護事業を少しでもより良いものとなるよう、皆さんのお知恵を拝借できるような場になればと思います。

私から本日の会議録署名委員を指名させていただきます。  
小林委員と三浦委員をお願いします。

報告第1号 令和3年度の会計決算および報告第2号 令和3年度の介護保険事業の状況につきまして、事務局より一括し説明をお願いします。

浅野係長  
重堂主幹

令和3年度の介護保険特別会計の決算状況についてご説明させていただきます。  
**説明略**  
報告第2号の令和3年度介護保険事業の状況をご説明させていただきます。  
**説明略**

阿部会長

説明ありがとうございました。  
報告第1号について、質問はございますか。報告第2号の介護保険事業の状況につきましてはいかがでしょうか。

人口区分や介護者区分の状況など、これも事実であると思います。特に質問ありませんか。

それでは令和3年度の事業報告です。内容についてはいかがですか。

一般介護予防事業に関しては、コロナの影響で中止されている事業もありますが、包括的支援事業についてはいかがでしょうか。

包括的継続的ケアマネジメント支援事業についてはいかがでしょうか。オンライントークを利用して色々工夫されてるような状況だったと思いますが、特にご意見・ご質問はありませんか。

報告第1号第2号に関しまして改めて特にご意見、ご質問なければ次に移らせていただきます。

報告第3号、第4号について、3つの包括支援センターから報告をお願いします。

中村センター長 地域包括支援センターらんらのセンター長をしております中村です。

**説明略**

橋本センター長 地域包括支援センターほほえみのセンター長の橋本でございます。

**説明略**

武田統括主任 包括支援センターロータス音更の武田と申します。

**説明略**

阿部会長 ありがとうございます。地域包括支援センターからそれぞれ担当している圏域の主張など報告がありました。

当事業報告について、委員の皆様からご質問を受け付けます。

らんらは農村地区を広く担当しているので、そのあたりの色々な特徴が報告されました。

堀委員 高齢者の体力的なことやフレイルが進んでいるなど、体力を向上させようと高齢者のは結構頑張っていると思います。よって、私は高齢者にフレイルが進行していると感じておりません。実際に高齢者の皆さんと接している3包括の皆さんにはどう感じているか伺いたいと思います。

中村センター長 らんらは、万年・西中・南中と色々ありますが、農村地区においては、本当に地域を繋ぐ深い関係が構築されています。お祭りの行事など集まりが非常に良く、仲間意識もあり、確かにフレイルをあまり感じません。むしろ元気だなあという印象を受けています。

橋本センター長 ほほえみは、町の中心部に位置しており、極端に二極化しています。すごく健康状態を気にされて、自分でしっかりとやってる方、逆にそうでない方もいるかなという感じます。

特徴的なのは、圏域内に大きいスーパーが国道沿いにあります。スーパーが多いことで、買い物に行って重いものを持って自宅まで登ってこれないという、地域の特徴が少し出てきていると思います。今後は移動販売などが必要になってくるのではないかなと感じています。

武田統括主任 特徴としては世代が若い地区だと思います。その中で著しくコロナの影響を受けて、

体力が低下してるとは実は感じてはおりません。十勝川温泉地区や長流枝などは、今年度実態把握として独自に動き、その離れた地区の方々がどのような生活をしているかなどを見極めていきたいと思っております。

堀委員

仕事でコロナに関する研究報告書などを調べるのですが、まだコロナで低下してきているといったデータが出てきていないです。実際に3包括の皆さんからご意見が聞けてとても勉強になりました。

種川委員

ロータスの説明の中で重層的な支援とありました。以前事務局から会議資料を送っていただいた時、町が重層的な支援体制を進めていくとの記載があり正直嬉しかったです。障がい者の問題も含めて、ここまで来たんだなあと嬉しくなりました。今は子どもの不登校が凄く増えています。お年寄りや不登校の子どもとか、いわゆる弱者と言われる方と色々なお話をされたのかなと思っています。どんなお話をされたのか聞かせていただきたい。

武田統括主任

地域の方々が相談しやすい窓口として、介護に限らずほかの相談をいただきたいっていったところでの重層的というような支援体制を整えています。町にも準じて私達も進めていくという形です。子育てのことや生活困窮について全てロータスのだけで解決できるとは思っていませんので、皆さんの悩み事を受け止めて、そこで関係機関に繋いでいくことが私達の役割だと思っています。なお現時点では、具体的に相談をいただいたというケースはまだございません。

堀田部長

重層的な支援体制は、令和2年に社会福祉法が改正されて、重層的な支援体制事業を、自治体で進めてくださいということで、令和3年度に道内3ヶ所で実施した地域があり、本町は令和4年度から始めました。道内では8ヶ所あり、断らない窓口を設置した内容として、地域包括支援センター、子育て支援センター、保健センター、役場庁舎に生活保護の相談窓口がありますので、それぞれが一体的に横の連携をとるということで進めています。生活保護の相談に来たときに、経済的な困窮の話にもなります。そこには介護の問題も出て来ますし、子どもの不登校の話も出て来ます。子どもがいて、学校に行けないなどといった相談も合わせて受けることとなります。よって、専門機関、介護の相談、障がいの相談など、それぞれ専門に繋げていくというような役割を果たし、1ヶ所で全部解決は難しいので、それぞれの専門機関に繋いでいく仕組みといった感じです。今まで町はそうやってはきたのですが、今回は国の事業に合わせて進め、社会福祉士の専門職も置いて進めています。7月末では4月から障がいと生活保護の問題とほかの問題と併せて十数件を支援している状況です。ご理解いただければと思います。

阿部会長

行政の取り組みとしてそういった方向で今、日本社会自体が貧困というと、その中にお年寄りもいれば、子どももいる。障がいを持った方もいるといった中で、そういった人たちの暮らしと、生命を守っていくためには、専門性も大事だけれども、その中で1つの連携包括的な施策が必要であります。3包括支援センターそれぞれが独自性を発揮されながら、今後さらに期待をしていきたいです。報告第3号第4号終了させていただきます。

月居主査

報告第5号 介護予防支援委託先居宅介護支援事業所の承認について  
説明略

その他 ニーズ調査について説明

浅野係長

現在の第8期計画が令和3年度から令和5年度までの計画となりますので、新たに令和6年度から令和8年度までの第9期計画を作成していく必要があります。

計画の作成に当たりましては、前回の計画と同様に、要支援者、総合事業対象者、一般高齢者等を対象に、日常生活圏域ごとの地域課題の把握を目的として、介護サービス等の需要を確認するための調査、いわゆるニーズ調査を行いたいと思います。

前回の調査は、65歳以上の要介護認定を受けていない方を対象とした介護予防日常生活圏域ニーズ調査を始め、在宅介護実態調査、介護サービス事業所調査、介護支援専門員調査という形で、4種類の調査を行っており今回も同様の調査を行う予定です。

調査に当たり基礎的な地域データおよび資料の整理・分析等の業務については、コンサルティング会社等事業者と指名競争入札による業務委託を行う予定です。

計画策定までのスケジュールとしては、令和4年度にニーズ調査を実施し、調査結果の分析・考察を行い、令和5年度からこの協議会において、計画に盛り込む内容等について、皆さんにご意見をいただきながら、策定作業を進めていきたいと考えています。

よって次年度は、複数回皆さんにお集まりいただき、協議会を開催していくことになると思います。ご協力をよろしくお願いいたします。

川田課長

最後にお手元にありますパンフレットについてご説明します。

令和2年度は中止としましたが、今年度は若年性認知症の当事者である丹野智文さんをお迎えし、9月10日文化センターで講演会を開催します。

地域活動や認知症に関する取り組みの紹介ということも計画しております。日程にご都合のつく方はよろしくお願いいたします。

片岡委員

ニーズの調査に関して、もう少し町の方向性が見えるとありがたい。色々と工夫してみたいな感じにしか私には聞こえないのですが方向性を伺いたいです。

堀田部長

令和2年に社会福祉法改正されて、重層的な支援体制に取りかかっています。地域共生社会ということで、高齢者も障がい者も子育てもみんな一緒に支え合う、支えられるが基本のスタンスとなっています。

今回のニーズ調査は介護保険法に基づく最終的に介護保険料の算定のために行っていくということでご理解いただきたいと思います。

障がいの計画、子育ての計画についてそれぞれ法律に基づいて進めていくというのが一般的な流れです。

先日道新に掲載されていましたが、計画が自治体の負担にもなっているとありました。例えば地域福祉計画、障がい者の計画、介護、子育て関連することなどたくさんあります。

それぞれを別々に動いている実情ではあると思いますので、今後はそのあたりが国でも計画に共有部分があるかどうかを調整すると報道されていたので、まずそれぞれに計画を策定していくということではご理解をいただきたいと思います。

阿部会長

他にご意見がないようなので会議を終了します。

皆さんお疲れ様でした。